

淡路島の農家と連携し 小麦生産から手掛ける 安心・健康ニーズに応え 毎日食べられるパンを



安全・安心で健康な小麦を求めて

農家が自身の畑で収穫した小麦を原料にパンを作る事例は時々ありますが、パン屋が小麦栽培を始めるのはとても珍しいケースです。山のパン屋の代表、村井文仁さんは現在、南あわじ市に6反、稲美町に3反の農地を借り、2年前から小麦の新品種、せときららの生産を始めました。全粒粉のできる量は年間約3トンを、これを原料にしてパンを製造。「自家製全粒粉の毎日の食パン」として販売しています。

村井さんはもともと飲食店向けの店舗をプロデュースし、設計から建設までを行う工務店を営んでいました。2009年11月、西宮市山口町にモデルハウスとして建てたトレーラーハウスを利用してパン屋をスタート。最初は冷凍生地を使ってパンを製造していましたが、ものづくりへの興味が湧き始め、原料の小麦選びからこだわると、どんどん固定客が付くようになっていきました。より安全なもの、より健康なものを求める来店客との対話を重ねる中で、「酵母や牛乳、バターをよりよいものにしても、結局安全、健康の鍵を握るのは原材料の大半を占める小麦。それが安全で安心なものでないと意味がない」と強く思うようになりました。

ただ、パンに使われる小麦の大半が輸入。減反政策の下、大規模農場で生産されている国産小麦についても手間暇をかけた生産ができていく現実を知りました。そこで村井さんは「小麦生産から自分でやってみよう」という思いに至ります。パンに適した小麦を探そうと、モチモチとしたパンの食感に欠かせないグルテンが豊富な小麦の新品種「せときらら」が山口大学で開発されたことを知り、種子を分けてもらいました。

こだわりを発信し販売も好調

協力してくれる生産農家を探しているうち、村井さんの思いに共感した南あわじ市の石上農園から「農地を貸してもよい」と申し出があり、土づくりを含めた栽培指導をしてくれることになりました。また、取引金融機関である信用金庫の担当者から、「それならばひょうご農商工連携ファンド事業助成金を活用したらいい」と制度の利用を勧められました。

生産初年度の2015年は石上農園が持つ

タマネギ畑の跡地で試験栽培をスタート。化学肥料や農薬を使わずに収穫した小麦は通常1日で機械乾燥させるどころ、2週間をかけて天日乾燥します。その後、実が充実した小麦だけをより分け、やはり機械を使うことなく殻ごと御影石の石臼で挽いていきます。「一気に熱をかけると小麦本来の香りが飛んでしまいます。こうして時間をかけることで香りが際立ち、飽きの来ないパンの風味をつくるのができるのです」と村井さん。

助成金は村井さんのこだわりを広く知らしめるためのポスターやパンフレット作りに充てました。「パン屋の小麦栽培」と名付けた小冊子には小麦作りに至った思いや小麦栽培からパンができるまでの製造工程を分かりやす



淡路島の農園を借り自ら小麦を生産

く説明しました。パン屋が小麦生産ま
で行う取り組みはじわじわと知られるよ
うになり、今では百貨店などの催事に
も声が掛かります。「催事に出るたび

販売量がどんどん増えて、知名度が
上がっていることを実感しています」

現在は、小麦をどのタイミングで挽
き、挽いた後どれだけ熟成させれば、

完成したパンがよりおいしくなるかを研
究中とのこと。しばらくは9反ある栽培
面積を無理に増やさず、じっくり小麦作
りと向き合っていく構えです。

店舗概要
山のパン屋

所在地 西宮市山口町船坂字中垣ノ内90
代表 村井文仁

事業内容 パンの製造・販売
TEL 078-907-3920

支援メニュー講座

ひょうご農商工連携ファンド事業助成金

中小企業者等と農林漁業者が連携した、 新商品、新サービスの開発を応援します。

制度概要

県内の農林水産物などの地域資源を活かした、中小企業者等と農林漁業者の連携による新商品・新サービスの開発の取り組みについて支援を行っています。

この助成事業により、魅力ある農林漁業ビジネスや市場ニーズに適応した新商品の開発を実現し、事業者の収益拡大に貢献するとともに、地域経済の振興を図ります。

また、既に新商品開発に取り組んでいる事業も対象となります。

メリット

- 商品開発に対して、500万円を限度とした助成金（助成率は、対象経費の3分の2以内）の交付が受けられます。（対象経費：原材料購入費、加工委託費、デザイン料等）
- 中小企業者等と農林漁業者が連携することで互いの強みを活かした商品開発が可能となり、新たなビジネスチャンスが広がります。
- 助成期間を最大2年間設けていますので、開発計画に合わせて事業期間を自由に設定できます。
- 助成を受けた事業については、兵庫県とひょうご産業活性化センターが共同してPRの取り組み支援も行います。

問い合わせは ひょうご産業活性化センター創業推進部新事業課 TEL 078-977-9072